

(Ⅳ-21) 東京国際空港における構内道路案内標識の計画及び設計

運輸省第二港湾建設局		後藤	隆幸
運輸省第二港湾建設局	正会員	伊藤	和央
運輸省第二港湾建設局	正会員	池田	直太

1. はじめに

現在、運輸省第二港湾建設局では、急激な国内航空輸送需要の増大と騒音問題に対応するため、東京国際空港（羽田空港）の沖合展開事業を実施している。この事業は現空港の機能を段階的に移転しながら拡張するもので、全体でⅢ期に分けられる。このうち西側ターミナルビルの新設を含む第Ⅱ期事業が完成し、平成5年9月27日に供用された。この新しい羽田空港には、図－1に示すように首都高速湾岸線、国道357号、環状八号線が乗り入れ、東京、千葉方面からのアクセスが大幅に改善された。又、これらの主要流入路と空港内の各施設とを結ぶ周回道路（延長約8km）と備された。本文では、この構内道路上に設置したのである。

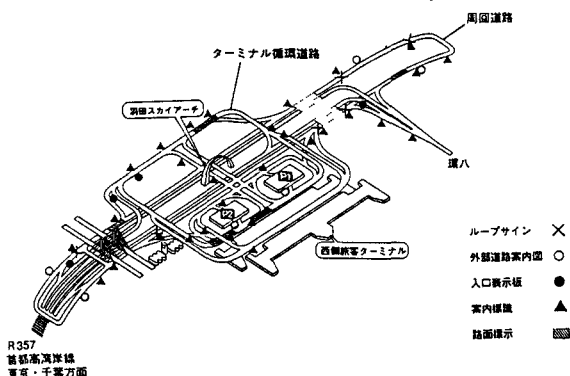


図-1 道路線形及び車両用サイン設置位置

港内の各施設とを結ぶ周回道路（延長約8km）とターミナル循環道路（延長約3km）からなる構内道路が整備された。本文では、この構内道路上に設置した案内標識等の配置計画及び設計経緯について報告するものである。

2. 案内システムの基本構成

図-1に示すように羽田空港の構内道路は、非常に分岐の多い道路線形となっている。そこで、通常の案内標識の他に、入口標示板やループサインと呼ばれる補助標識等を整備するなど道路案内システムを図-2に示すように総合的に検討した。また、関係各方面にパンフレットを配布し、周知を図った。

3. 案内標識配置計画

案内標識の配置計画については、(社)日本道路協会の「道路標識設置基準・同解説(S62)」に基づき、設置位置や版面レイアウト、路面標示の第一次案を作成した。次に、羽田空港の構内道路には、運輸省、建設省、首都高速道路公団、東京都が案内標識を設置するため、これら4者間でそれぞれの案内標識について調整して案内標識の第二次案を作成した。さらに、コンピュータグラフィックスを用いて各案内標識が橋脚や橋台等に隠れてないか、また十分な視認時間が確保されているかを検討した。又、規制標識等についても、案内標識を見るドライバーの視線を規制標識が妨げないように設置位置を調整した。

以上のような検討を踏まえ、図－１に示すように周回道路及びターミナル循環道路上に合計３０基（５２枚）の案内標識を配置する計画とした。

4. 案内標識の設計

案内標識の設計に当たっては、その標識が持つべき機能性とともに、羽田空港全体の景観と整合性が取れるように配慮した景観設計を行った。

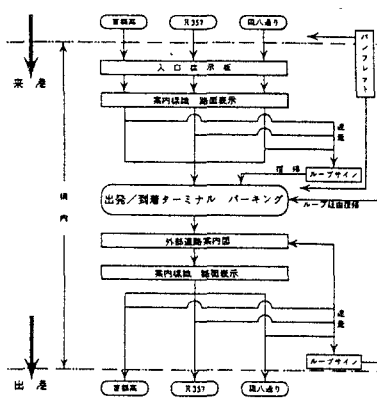


図-2 車両用サインシステム

①羽田空港の特性を生かした版面レイアウト（機能設計）

- ・空港の国際性を考慮し、一般道より英文字を大きめにした。
- ・図-3に示すようにターミナルビル、出発カーブサイト、到着カーブサイト、駐車場等に絵文字標示（ピクトマーク）を使用した。

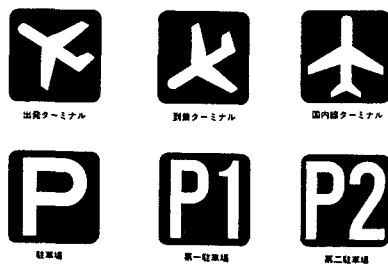


図-3 ピクトマーク一覧

②標識柱のデザイン（景観設計）

- ・照明柱には、メンテナンスが容易なことや外観性を考慮して、ステンレスが使用されている。そこで、景観上の統一性を図るため、標識柱にも図-4に示すようなステンレスの化粧板を取りつけた。

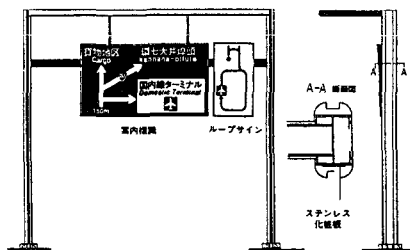


図-4 案内標識柱全体図

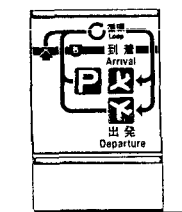


図-5 入口標示板

③版面色

- ・首都高速道及び一般道から流入してくる車が構内道路に入ったことを認識できるように版面色を紺色（ニッケル）とした。

5. 補助標識

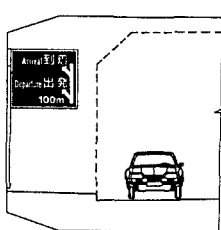
羽田空港の構内道路では、案内標識を補完する目的で以下に示す補助標識を設置した。

①入口標示板

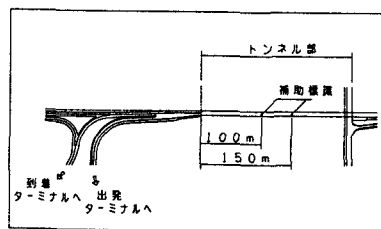
首都高速湾岸線、国道357号、環状八号線から流入する車に空港構内道路の道路線形等の情報を与える目的で、入口部に図-5に示すような大型の案内版(5m×4.8m)を立てた。

②ループサイン

構内道路上の案内標識に迷走車対策用として、ターミナルまでの道筋が一目で分かるように図-4に示すような標識(ループサイン)を8枚設置した。



(断面図)



(位置図)

図-6 トンネル内補助標識

③トンネル内補助標識

周回道路の誘導路トンネル部にトンネル通過後すぐに分岐があるため、図-6に示す補助標識を設置した。

④外部道路案内図

周回道路上の4箇所に迷走車対策用として図-7に示すような車を横付けして見る外部道路案内図を設置した。

⑤パンフレット

開港前に構内道路線形を示したパンフレットをバス会社やタクシー会社等に配布した。

⑥路面標示

図-1に示す6箇所に行き先別の路面標示を行った。

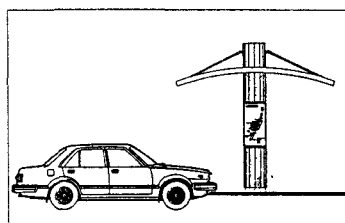
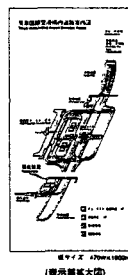


図-7 外部道路案内図



(表示距離大図)

6. おわりに

羽田空港の沖合展開第Ⅱ期事業が開港されてから構内道路に対して様々な要望が寄せられている。旧空港時代と比べて構内道路の線形が複雑となり、ドライバーが道路になれていなかったり、見学者等により交通量が大幅に増えたことも一因となっていると思われる。今後これら空港利用者の声を聞き、よりよい構内道路を整備するため、日夜努力していきたいと考えている。